

CASBEE-新築(簡易版)2010年版 (仮称)ジオ飯急洛西口 サウスレジデンス		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 201		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)	
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.1</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>			<b>3.3</b>	
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>		<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>	
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.15	<b>4.0</b>	0.50		
1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.50		
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
1.3 吸音		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.9</b>	
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00		
1 室温		<b>3.0</b>	0.63	-	-		
2 外気温度による室温調整		<b>3.0</b>	-	-	-		
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	1.00		
4 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	-	-	-		
5 温度湿度別制御		<b>3.0</b>	-	-	-		
6 温度湿度別に対する配管		<b>3.0</b>	-	-	-		
7 温度湿度別に対するシステム		<b>3.0</b>	-	-	-		
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-		
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.4</b>	
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50		
1 昼光率		-	-	<b>5.0</b>	0.50		
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50		
1 グレア対策		<b>3.0</b>	-	-	-		
2 昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-		
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.4</b>	
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		室内にJIS・JAS規格F☆☆☆☆の材料をほぼ全面的に採用	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
2 発熱体対策		-	-	-	-		
3 発塵体対策		-	-	-	-		
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.40	<b>2.6</b>	0.38		
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	-	<b>4.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>3.3</b>	
<b>1 機能性</b>		<b>2.7</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>	
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	-	-	-		
3 内装計画		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50		
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		内装防汚性材料の採用、外部の防汚性の高い仕上・納まりの採用	<b>4.0</b>	0.50	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃倉庫の確保、共用部での清掃に配慮した納まりの採用	<b>4.0</b>	0.50	-		
3 維持管理業務		-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-		
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		更新間隔の長いBランク配管の採用	<b>5.0</b>	0.15	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>2.0</b>	0.23	-	-		

2.4 信頼性		3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		-	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		1.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		4.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	周辺とのデザイン・色彩の共通化、沿道の緑地配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		4.5	0.20	-	-	4.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	居室での採光・換気の自然エネルギー採用80%以上	5.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備の採用	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	潜熱回収瞬間式湯沸し器の採用	5.0	0.40	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!	-	-	-	-	
集合住宅の評価		5.0	-	-	-	
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.63	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が一般建物と同等	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車場100%確保	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	